

特別の教育課程編成について(英語活動の実施)

1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取り組み

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案） ※令和3年度版

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OKEnglish（約8分のDVD）』を視聴することで週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作しながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



2 本校の取り組み

本校では、毎日昼の休み時間後の13時30分からの10分間を「英語活動」の時間として設定しています。

各学級の「英語活動」系の児童が、DVD視聴の準備をし、13時30分になると全教室から、DVDのスタートを知らせる「OK-English!」の歌声が聞こえてきます。「英語活動」

において、担任は次の3点を意識し、DVD視聴の時間に取り組むようにしています。

- ①明るく元気のよい声で大きなジェスチャーをし、児童と一緒に楽しみながらDVD視聴をします。
- ②正しい発音に心かけたり、様々な活動に笑顔で参加したりするなど、児童の手本となるようにします。
- ③元気よく、表現豊かなスピーチや動作ができている児童を大いに称賛し、児童の学習意欲を高めるようにします。

児童は、DVDに登場するネイティブスピーカーの指示に合わせ、身近にある様々な事柄の英単語を繰り返し発音したり、“Do you like～?”などの質問に答えたりしています。ときには、音楽に合わせたダンスをしたり、クイズに答えたり、各学年に応じた多彩な活動に楽しそうに取り組むことができます。特に、リズムに合わせて発音するチャンツの場面、リズム感あふれる振り付けの場面になると、大きな声と動作でまねをしたり、体全体を使ったユニークな表現をしたりする児童もいて、明るい雰囲気の中で10分間の活動に取り組むことができます。

3 成果（自己評価結果）

4年生以下の児童に英語活動に関するアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という問いに対して、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童は全体の92%でした。また、「DVDの内容はわかりますか」の問いに対して、「よく分かる」「まあまあ分かる」と答えた児童は全体の83%でした。このことから、本校の子供たちは、楽しみながら英語活動を行っていることがわかります。DVDの視聴による英語活動は、児童にとって英語に慣れ親しむ時間となっているといえます。

【資料3】DVD視聴の様子



4 学校関係者評価結果

英語活動に関する保護者の声として、「兄弟で英語でじゃんけんをしたり、“How are you?” “I am～.”と2人で会話をしたりして楽しそうです」「英語活動はとても楽しいと子供が話してくれます」など、好意的な意見をいただいています。

5 まとめ

英語活動で、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するには、「自分の思いが英語で伝わった」「相手が話す英語が分かった」などの経験が必要だと考えます。DVDのなかで、ネイティブスピーカーが身近で具体的な事柄を取り上げ、視聴する児童に語りかけ、一緒になって声を出したり、体を動かしたりすることで、児童は英語に苦手意識をもつことなく、楽しみながら参加することができます。毎日10分の英語タイムにより、児童にとって英語がより身近なものになっています。